

NEWSLETTER
SPECIAL EDITION



2022年度グローバル女性人材養成プログラム(ニュージーランド)特集

2023年2月17日(金)~3月4日(土)の16日間、海外協定校であるリンカーン大学(ニュージーランド)にて短期英語研修が行われ、奈良女子大学から15名の学生が参加しました。プログラムの内容と共に、学生の感想を紹介します。



PROGRAM

リンカーン大学の英語の授業は、Academic Writing、Reading、Listening/Speaking、Research Skillsで構成されました。また、2回の特別授業も行われました。研修期間中はホームステイ先で過ごし、ニュージーランドでの生活を体験することもできました。

ENGLISH CLASSES

リンカーン大学既存プログラムであるEnglish for Academic and Professional Purposes (EAP)では、レベル別にクラスを受講し、多国籍のクラスメートと一緒に英語を学びました。

英語でのミニレポートの書き方を学ぶことができ、普段のレポートにも活かそうだと感じました。また、グループワークなどが多くあり楽しく授業を受けることができました。英語で何と言っているかわからなくて話すことをためらってしまうこともありましたが、理解しようとしてくれる人が多かったため、スペルを紙に書いたりしながらもコミュニケーションをとることができました。

リンカーン大学の英語の授業をしてくださった先生方は全員優しく、明るくて、積極的に授業に参加したいという気持ちになりました。

日本で受ける英語の授業よりも分かりやすく、楽しかったです。そのため、色々な知識を楽しく吸収できて有意義でした。また、他国の生徒も多く、ニュージーランド以外の国についても知れて良かったです。

日本の授業とは違いクラスメートとのディスカッションが多かったため、自分の意見を言ったり、他人の意見も聞いて授業内容も頭に残りやすかった。

授業を担当してくれた先生方は優しく、いつも笑顔で、明るく、分からないことがあれば、わかるまで熱心に教えてくれました。また、先生にすぐ違う度に挨拶してくれました。

IELTSの試験で求められることを知ることができ、今後の英語学習の指針を定めることができたため、有意義な授業であった。洋楽を授業に使用したりなど、先生の教え方も多様で、授業の組み立て方にも学ぶ点が多かった。

リスニングが弱く、始めは先生の指示が聞き取れずに日本人の友達に頼ることが多かったが、クラスの他国の留学生と仲良くなり、少しずつ慣れてくると英語で宿題を確認したりして日常会話を学べたと思う。

Reading, Writing, Listening, Speakingどれをとっても日本で受けた英語の授業より楽しかったし、一回でたくさんのことを学べたなと感じました。Writingでは今まで大学受験や英検対策で学んだようなテンプレ的なエッセイではなく、実用的で簡潔な構造を学ぶことができました。Speakingの授業はグループワークも発表もすべて英語だったので、英語で話すことのためらいがなくなったように感じます。今まではきれいな発音で完璧な文をしゃべらなければいけないと思っていましたが、クラスメートたちの積極的にどんな英語でも話そうとする姿勢を見て、そういう英語を話すことへの壁みたいなものが自分の中でなくなりました。

HOMESTAY



ホームステイをすることで、ニュージーランドの人々の生活、食事、文化などを体験することができたようです。

ホストマザーがいい人でご飯もおいしく、一緒にボードゲームをしたりして楽しめました。また、その日行った場所などについて写真を見せながら話すこともできて楽しかったです。他の学校の子とホームステイ先が数日間だけ一緒になりましたが、その子とも仲良くなることができ、一緒に遊びに行ったりと、良い出会いになったと思います。

ホームステイでよかったのはホストファミリーと話すなかでニュージーランドについて色々知れたことで、悪かったことは特に無いですが、もう少し話したかったという後悔はあります。

ニュージーランドの方の価値観に関しても学ぶことが多くあった。人にはよと思うが、私のホストマザーは、"easy"が口癖で、トラブルが生じて、私が迷惑をかけても気に留めないようであった。ニュージーランドには、そのように大らかな人が多かったように思う。今後は、完璧主義になりすぎず、ホストマザーの性格も見習っていきたく感じた。

英語を学ぶことができたのはもちろんのこと、ニュージーランドの文化のようなものにも触れることができたのがよかったです。その国に住んでいる人の人柄であったり、習慣について知ることができたのも日本の中にいた時では知ることができなかつたので貴重な経験になりました。



よかったことは第二の家族ができたことです。一緒に過ごした時間は短かったですが、ホストマザーが大好きになれました。



毎食ご飯が美味しかったこと。ホストファミリーからたくさんの単語、言い回しなど教えてもらったこと。言いたいことがなかなか英語で伝えることができなくて、苦労した。

DISCOVERY IN NEW ZEALAND

ニュージーランドに2週間滞在し、大学で授業を受講したりホームステイをしたことで、「自分の意思を伝えるための英語力」、「多様性」、「価値観の違い」について考えた学生が多くいました。研修に参加した学生達がニュージーランドで発見したこと、感じたことを紹介します。

まず、私が特に学んだことは価値観の違いと多様性です。例えば、日本ではジェンダーに関してまだオープンにできない風潮があると思いますが、リンカーン大学のクラブ活動の体験に行った際、LGBTQについて発信するクラブがあったり、自分が呼ばれたい代名詞(he/she/they)を相手に伝えたりと考えや発言が自由に積極的に行われている印象がありました。これは、日本とは違い多民族国家で、多様性を認める風潮があるのだろうと考えました。今回のプログラムで、視野が広がり、他国の風土や文化をより理解できたと思います。私の将来の目標である、国際交流・国際協力の分野においての自分のビジョンがより具体的になりました。



英語学習に関しては、リンカーン大学の授業でアカデミック・ライティングのポイントについて学んだ。今後は、授業でそのスキルを活かしたり、より長期の留学に行くことができるようにIELTSやTOEICなどの資格試験を効果的に使っていこうと思った。



今までは周りの視線を気にして、分からないことがあったりしても、みんなの前で質問したりすることができないような内気な性格だったのですが、困ることが多々あったNZでは、何とかして周りの人たちに自分の意思を伝えようと思えるようになりました。

私はNZに行って「発言することの重要性」「毎日を気楽に生きていってもいいこと」を学びました。最初のうちは、違う環境で生活するのはとても新鮮で、どうしたらいいかわからないことが多くありました。人に聞こうにも自分の英語力に自信がなく、言いたいことが英語でなかなか言えず、授業やホストファミリーの前でも黙ってしまうことがありました。しかし、周りの人とコミュニケーションをとるにはとにかく話すしかないと感じて、とりあえず思いつく単語だけでも並べて伝えてみようと思うようになりました。

4月から研究室生活が始まる私にとっては、今回の研修が最初で最後の留学できるチャンスでした。知り合いもおらず、2週間という短期間で、有意義な時間を過ごせるか不安でしたが、語学力だけでなく、これから生きていくうえで大切なたくさんのが学べて、本当に研修に参加してよかったと思いました。この研修で学んだことを忘れず、今後の生活にも生かしていきたいです。今後も英語の勉強を頑張って、次は長期留学に挑戦してみたいです。



世界には自分とは違う生活・文化、常識を持つ人たちが多くいて、それらに触れることは興味深く、自分の視野や考えが広まることに繋がると感じた。今後もっと海外に行ってみたく感じた。またこれをきっかけに自身の英語能力をあげてみたいと感じた。

今回のプログラムの参加を通して、自分がすごく狭い世界で暮らしていることを実感し、自分とは異なる環境で育ってきた人と交流したり、知らなかった文化を知るおもしろさを学んだ。また、そういった人たちと話したり交流するには、英語が必要不可欠であることもひどく痛感した。そのため、もっと世界の人々と自分の言葉で話すために、英語の勉強をよりしなければならぬと思っている。それに加え、世界の様々な問題について自分で考え、自身の意見をもつ習慣をつけたいと考えている。



奈良女子大学 国際交流センター

NEWSLETTER NZ特別号 2023年3月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3736

Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp

<http://www.nara-wu.ac.jp/iec/center/ja/index.html>